

1/22 (水)の行事

報道発表資料の配付日時 2025年 1月15日 (水) 10時00分

発表項目 (行事名)	「医療機器等関連産業参入研修会」の開催について										
開催概要	<p>【開催趣旨及び開催概要】 札幌医科大学は、北海道、ノーステック財団、札幌商工会議所との共催により、道内ものづくり・IT企業等の医療機器等関連産業への参入や企業間連携を促進するため、医療機器等関連産業参入研修会を開催します。研修会では、道内企業による「医療機器開発の事例紹介」や札幌医科大学附属病院の医療スタッフ、社会人大学院生のニーズとものづくり企業等とのマッチングを促進する「医療現場ニーズ発表」を行います。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>○日 時：令和7年(2025年)1月22日(水) 14:00~17:00 ○会 場：会場およびオンライン配信 (Zoom) 会場：札幌医科大学教育研究棟 2階 C203 (札幌市中央区南1条西17丁目)</p> <p>○共 催：北海道、札幌医科大学、ノーステック財団、札幌商工会議所 ○協 力：(株)北洋銀行、(株)北海道銀行 ○定 員：会場50名、オンライン50名(先着順・参加費無料) ○対 象：ヘルスケア関連産業への参入を検討している企業、すでに参入している企業、他 ○内 容：(1) 事例紹介 「脊柱側弯症検査用機器スコリオデバイスの開発」 電制コムテック株式会社 専務取締役 須貝 保徳 氏 (2) 札幌医科大学附属病院の医療スタッフ、社会人大学院生によるニーズ紹介 〈発表ニーズ10件〉</p> <table border="1" data-bbox="376 1312 1398 1653"><tbody><tr><td>スポンジ付きカプノメーター用マウスピース</td><td>超小型大動脈内バルーンパンピングの開発</td></tr><tr><td>造影剤漏出検出装置</td><td>電動音叉(電動振動刺激装置)の開発</td></tr><tr><td>QRコード方式によるトレーサビリティの導入とスキャン用ソフトウェアの開発</td><td>脳刺激電極固定用器具の開発</td></tr><tr><td>ケーブル付きIS-4リード接続コネクタ</td><td>非金属製頭部台及び上肢台付きリラクゼーションチェアの開発</td></tr><tr><td>コードレスorパッチレス心電図、SpO2モニター</td><td>超音波プローブ用固定器具の開発</td></tr></tbody></table> <p>(3) 名刺交換・情報交換</p>	スポンジ付きカプノメーター用マウスピース	超小型大動脈内バルーンパンピングの開発	造影剤漏出検出装置	電動音叉(電動振動刺激装置)の開発	QRコード方式によるトレーサビリティの導入とスキャン用ソフトウェアの開発	脳刺激電極固定用器具の開発	ケーブル付きIS-4リード接続コネクタ	非金属製頭部台及び上肢台付きリラクゼーションチェアの開発	コードレスorパッチレス心電図、SpO2モニター	超音波プローブ用固定器具の開発
スポンジ付きカプノメーター用マウスピース	超小型大動脈内バルーンパンピングの開発										
造影剤漏出検出装置	電動音叉(電動振動刺激装置)の開発										
QRコード方式によるトレーサビリティの導入とスキャン用ソフトウェアの開発	脳刺激電極固定用器具の開発										
ケーブル付きIS-4リード接続コネクタ	非金属製頭部台及び上肢台付きリラクゼーションチェアの開発										
コードレスorパッチレス心電図、SpO2モニター	超音波プローブ用固定器具の開発										
報道(取材)に当たってのお願い	医療現場の生の声から、道内ものづくり企業・IT企業が製品化・事業化を目指すユニークな試みであり、すでに製品化の実績も複数あるイベントです。積極的な取材等をお願いします。										
本件に関する問い合わせ先	札幌医科大学 附属産学・地域連携センター 担当：板垣 TEL 011-611-2111 (内線：21570)										